

鍼灸科

はり実技5

対象	3年次	開講期	前期	区分	必	種別	実習	時間数	45	単位	1
担当教員	濱田淳／森田義之			実務経験	有	職種	鍼灸師				

授業概要

主要症候の病態を部位別に現代医学的な観点から学び、臨床において鍼施術をどのように行うかを学ぶ。疾病の原因、局所解剖、徒手検査法などを学習し、鍼灸の適応・不適応の鑑別力、病態判断の精度を高め、治療の基本となる要穴や常用穴に対して解剖学的見地に基づき、確実な取穴と安全な刺鍼が行えるようになること。また、医療従事者としてふさわしい身なり、態度、言葉遣いを理解、実践し身に付けることもねらいである。

到達目標

この科目では泌尿生殖系の主要疾患、症候に対して、効果的な鍼施術を安全かつ確実に行う能力を身につけることを目的とし、各疾患・症候の原因と局所解剖を理解すること、鑑別力と病態把握の精度を上げること、治療に必要な部位への的確な刺鍼が行えるようになることが目標である。また、疾患を持つ相手への施術を想定するため、医療従事者としての相手への気遣い、目配り、態度、姿勢を身に付けることを目標とする。

授業方法

筑波大学における長年の研鑽によって育まれてきた「筑波大学式鍼治療理論」を元に、現代医学的「鍼」を教授する。対象科目は泌尿器とする。他の研究機関では症例も少ない分野であるが、筑波大学ではこの分野における多くの成果を持つ。筑波大学で使用される低周波通電器を用い、病態の把握をしっかりと理解させた後、実際に刺鍼練習を行うことで効果の高い技術を身に付ける。

成績評価方法

筆記試験評価。

履修上の注意

授業日数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。講義時間に無連絡で20分以上遅れた場合、受講はできるが出席の扱いをしない。明確な理由が無い早退は出席したとは認めない場合がある。試験は前期での疾患論について行う。実技では、受講態度によって評価することを原則とする。

教科書教材

教科書は臨床医学各論、教材や資料は時間中に配布する。

回数	授業計画
第1回	自己紹介、現代井垣的鍼とは
第2回	尿路感染症（膀胱炎及び関連疾患）
第3回	尿路感染症（前立腺炎）

はり実技 5

第 4 回	尿路感染症（腎炎）
第 5 回	尿路感染症（精囊炎、精巢炎）
第 6 回	疼痛性疾患（慢性骨盤部痛症候群）
第 7 回	疼痛性疾患（慢性骨盤部痛症候群）
第 8 回	疼痛性疾患（慢性骨盤部痛）
第 9 回	排尿障害（前立腺肥大症）
第 10 回	排尿障害（過活動膀胱、尿失禁）
第 11 回	腫瘍性疾患（前立腺癌、膀胱癌）
第 12 回	夜間頻尿に対する鍼治療法
第 13 回	恥骨上部への刺鍼の基礎練習
第 14 回	肩蕪僧帽筋
第 15 回	肩蕪三角筋、小円筋

はり実技 5

第16回	頸部頭最長筋、頸板状筋
第17回	頸部後頭下筋
第18回	背部脊柱起立筋
第19回	背部多裂筋、最長筋、腸腰筋
第20回	殿筋大殿筋、中殿筋、小殿筋
第21回	下肢ハムストリングス
第22回	下肢大腿四頭筋
第23回	下肢下腿三頭筋、腓骨筋、前脛骨筋